三好池まつり

木曽の水の恵みに感謝

三好の三大夏まつりの最初を飾る「三好池まつり」が8月1日、三好池で開催されました。今年は梅雨明けの発表がされない中、昼過ぎから雨が激しく降り、開催できるか心配されましたが、直前に雨も小康状態となったため、予定どおりに開催されました。町内外からおよそ2万1千人が来場し、7隻の提灯舟（ちょうちんぶね）と1、200発の花火が織り成す幻想的な世界を楽しみました。

今回の特集は、その様子を写真で紹介します。

三好いいじゃん踊り普及会(踊りMAX！)の演技

18:10 アトラクション

18:15 提灯舟出船(1回目)

19:15 開会式

19:30 三好池まつりの名物提灯舟

オープニングアトラクションでは、三好いいじゃん踊り普及会(踊りMAX！)と三好太鼓の皆さんが、いいじゃん踊りと力強い太鼓の演奏をそれぞれ披露。元気いっぱいのパフォーマンスと迫力ある演奏に、会場からは、大きな拍手が送られました。

また今年は、初の試みとして提灯舟が2回池を周回。まだ提灯に灯がともされていない普段とは違った表情の提灯舟がオープニングアトラクションに合わせて池を周回し、まつりに花を添えました。

木曽の水の恵みに感謝

三好池まつり

19:50 ツインスターマイン

20:18 水中スターマイン

20:21 フィナーレを飾った長さ300メートルのナイアガラ花火

スターマインの花火を皮切りに、花火の打ち上げがスタート。メッセージと合わせて打ち上げられるメモリアル花火や、水中スターマイン、ナイアガラ花火など1、200発の花火が観客を魅了しました。中でも、池の地形を生かした水中スターマインや長さ300メートルのナイアガラ花火は迫力満点。眼前に繰り広げられる、夜空と水面を彩る華麗な音と光の競演に、会場からは大きな拍手や歓声が上がっていました。